

PDCAチェックシート

実施年度	令和5年度		担当課名	地域創生課・戦略情報課
事務事業名	観光推進事業・シティプロモーション事業			
【Plan】計画		【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 観光基本計画に基づく各種観光振興事業を実施することにより交流人口を拡大し、地域経済の活性化へとつなげる。 また、地域活性化起業人制度を活用し観光推進体制の強化を図る。		■具体的取組 地域創生課SNSを活用した情報発信、観光パンフレットやマップの作成、旅行ガイドブックへの広告掲載、パンフレット類の設置場所の拡大、看板作成設置、津田SA案内コーナー設置 市観光協会や市ブギウギ応援隊のほか、各種団体負担金・補助金交付。地域活性化起業人制度によるPR活動。	■成果指標の具体的検証結果 （インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載） シティプロモーションとして東かがわ市を訪れたいくなるような写真や動画をSNSで継続的に発信した結果、Instagramのフォロワー数は6,000人を超えた。 観光推進として、市観光協会とともに観光パンフレットの発行や旅行ガイドブックへの広告掲載を実施。東讃エリア観光振興事業（さぬき市及び木田郡三木町）としては、新たに同エリアの観光パンフレットを作成したほか、県外などでPRイベントを実施し、同エリアのPRや観光客誘致に取り組んだ。 市観光協会においてもスタンプラリーやフォトコンテストに取り組んだ。 NHK連続テレビ小説「ブギウギ」の放映に際し、応援隊を結成し、市内ロケや各種イベントを盛り上げたこともあり、観光施設の入込客数は872,764人と前年度（770,983人）から増加した。また、ブギウギへの諸対応で、域内観光事業関係者の連携が深まり、2025年の瀬戸内国際芸術祭や大阪・関西万博にもつながる地域の一体感が生まれた。	■検証結果を受けての具体的対応 2025年には大阪・関西万博と、瀬戸内国際芸術祭が同時期に開催される。両イベントの結節点ともなり得るここ東かがわ市においては、2025年だけでなく、2026年以降にもつなげる観光政策を進める。引き続き市観光協会をはじめ、東讃エリアやASAなどの広域連携を活用し情報発信の充実を心がける。市民や事業者向けにも魅力発信を行い、旅行者の受入体制強化を図り、さらなる市の魅力度アップや観光資源の磨き上げに繋げたい。
■成果指標（アウトカム・KPI）※ 【目標値】 令和6年度末時点で ○市内観光施設入込客 年間100万人 【達成値（R5実績値）】 ○市内観光施設入込客 年間872,764人		■インプット（投入金額等） 事業費等 観光一般費 51,362千円 ○パンフレット等印刷 2,717千円 ○旅行ガイドブック広告 677千円 ○魅力発信事業委託料 9,216千円 ○観光PRコーナー使用料（津田の松原SA上り） 264千円 ○市観光協会補助金ほか各種団体負担金・補助金 23,052千円 ○地域活性化起業人負担金 12,981千円 ○その他 2,455千円 ■アウトプット（数量等） 実施回数等 ○地域創生課SNS Facebook 投稿 948 フォロワー数 1,605（前年1,196） Instagram 投稿 948 フォロワー数 6,660（前年5,026） ○パンフレット等印刷 漫遊印刷 20,400部 観光マップ作成 27,000部 ○旅行ガイドブック広告掲載 発行部数（全国）79,000部 ○観光PRコーナー使用料（津田の松原SA上り） ○市観光協会補助金ほか負担金・補助金 ○地域活性化起業人によるPR活動（東讃エリア観光振興事業含む）10回※関西圏ほか		

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標（数値）をいう。